

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝細胞癌に対する肝切除またはラジオ波焼灼療法施行後の再発治療・長期予後に関する観察研究：SURF trial 付随研究		
② 実施予定期間	倫理審査委員会承認後 から 2020 年 12 月 31 日		
③ 対象患者	すでに同意いただきました無作為化比較試験（RCT）もしくはコホート研究にご参加いただいた患者さん(およそ 1100 人)		
④ 対象期間	2009 年 04 月 01 日 から 2015 年 10 月 31 日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	第二外科(消化器・腫瘍外科)		
⑦ 研究責任者	氏名	永野 浩昭	所属 消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する情報等	対象患者さんの診療録から以下の情報を収集します。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者さん背景（再発時） ・再発日 ・再発以降の治療内容 ・再発形式,部位, 個数, 腫瘍径 ・局所治療の治療効果 ・腫瘍マーカー ・抗ウイルス療法 ・スタチン, ビグアナイド, アスピリン内服の有無と期間 等 		
⑨ 研究の概要	肝細胞がん治療における問題点のひとつは肝切除もしくはラジオ波焼灼療法により根治的に治療されたあとも、このご病気の性質上、新しく他の肝臓領域に再度がんが新出する もしくは治療場所の近くに再発する（広い意味で2つをあわせて再発とします。）率が高いことです。現在ご参加いただいている研究によって、肝切除もしくはラジオ波焼灼療法による初発肝細胞がんの治療における長期的な効果を明らかにできると考えておりますが、肝細胞がんの治療を初回のみならず全般的に考えた場合、その高い再発率を鑑み、再発時における治療方法とその長期経過について調査することも重要となります。再発時における治療としましては、再度肝切除、ラジオ波焼灼療法に加えまして、カテーテルという管を大腿の血管から肝臓の腫瘍の近くまで挿入しまして、そこから抗がん剤を注入し、がんを栄養する血管を閉塞させる治療方法（肝動脈塞栓術といいます。）も選択枝に		

	<p>はいつてきます。本研究では、再発状況にあわせた治療方法の選択とその長期予後を調査いたします。</p> <p>なお、本研究で収集した情報は、個人が特定できない状態で主任施設である東京大学へ集約され解析等が行われます。</p>		
⑩ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2018 年 10 月 24 日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター がん臨床研究支援事業 (CSPOR)		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 第二外科(消化器・腫瘍外科) 担当者:松井 洋人		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263

研究組織

研究代表者：

國土典宏

東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学

研究責任者：

河口義邦

東京大学大学院医学系研究科臓器病態外科学

研究参加施設（79 施設）

東京大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院、信州大学医学部附属病院、日本赤十字社医療センター、千曲中央病院、久留米大学医学部附属医療センター、東京医科歯科大学医学部附属病院、京都大学医学部附属病院、大分医療センター、聖マリアンナ医科大学病院、岐阜市民病院、山口大学医学部附属病院、聖路加国際病院、大阪大学大学院、熊本大学医学部附属病院、埼玉県立がんセンター、総合病院国保旭中央病院、がん研究会有明病院、大阪警察病院、国立病院機構大阪医療センター、神奈川県立がんセンター、久留米大学病院、徳島大学医学部、宮崎大学医学部附属病院、大阪赤十字病院、和歌山県立医科大学附属病院、順天堂大学医学部附属順天堂医院、広島大学病院、山梨大学医学部、近畿大学医学部附属病院、岩手医科大学、愛知医科大学病院、医療法人明和病院、姫路赤十字病院、北海道厚生連札幌厚生病院、関西医科大学総合医療センター、日本大学医学部附属板橋病院、武蔵野赤十字病院、長崎大学病院、山梨県立中央病院、横須賀共済病院、香川県立中央病院、北九州市立医療センター、大阪市立十三市民病院、三重大学医学部附属病院、兵庫医科大学病院、松阪市民病院、東京都立駒込病院、大分大学医学部、福山医療センター、九州大学病院、八尾市立病院、産業医科大学病院、富山大学附属病院、札幌医科大学附属病院、岡山大学病院、名古屋市立大学病院、関西医科大学附属枚方病院、福岡市民病院、高知医療センター、大阪市立大学医学部附属病院、済生会新潟第二病院、金沢大学附属病院、北海道大学病院、筑波大学附属病院、安曇野赤十字病院、国立病院機構千葉医療センター、大阪市立総合医療センター、東邦大学医療センター大森病院、東海大学医学部附属病院、帝京大学医学部附属病院、防衛医科大学校病院、福岡大学病院、慶應義塾大学病院、大阪府立成人病センター、藤田保健衛生大学病院、鹿児島大学病院、京都府立医科大学附属病院、茨城県立中央病院